

2周年イベント

『サイエンストーク@図鑑カフェ』

日時 2018年3月21日(水・祝)
14:00~16:00

コーヒーを飲みながら、最先端の研究について参加された皆様と対話をします。研究員が調査研究の成果を一人20分で話し、その後10分の質疑応答をします。



定員 30名 予約 不要 場所 図鑑カフェ

『開館2周年記念講演会』

日時 2018年3月25日(日) 10:30~12:00 (質疑時間あり)
ゲスト 石 弘之 国連環境計画 (UNEP) 上級顧問
テーマ だから、環境史研究はやめられない
~歴史を変えた環境変動~

環境問題研究者である石さんがついにミュージアムに登場します。石さんは、東京大学教授、駐ザンビア特命全権大使等を歴任し、新聞記者時代からこれまで世界140カ国を訪れ、人類が地球環境に与えるインパクトについて調査研究しています。環境に関する著書は40冊近くにのぼります。今回の記念講演会では、環境史研究の最前線について講演いただきます。ぜひ、この機会をお見逃しなく。



撮影：竹田武史

定員 100名 予約 要 場所 講堂

ミュージアムでは、大人も楽しめる教養講座や子ども向けの体験講座を開催しています。本紙で紹介している以外にも沢山のイベントを用意しています。詳しくはホームページをご覧ください。

申込方法 ※全てのイベント参加には、常設展又は企画展観覧券が必要です。
※予約が必要な講座につきましては、ホームページ (www.fujimu100.jp) をご覧ください。
※定員に達した場合、受付を締め切らせていただきます。

ミュージアムサポーター募集

ミュージアムでは4月1日から活動するミュージアムサポーター(ボランティアスタッフ)を募集します。

活動内容

- ミュージアムの展示解説や館内案内の補助
- 標本資料整理や館内整備の補助
- その他教育普及活動の企画・運営・補助
- ※交通費・報償費の支払いはありません。
- ボランティア保険に加入します。保険料はミュージアムが負担します。

特典

- 自然や地球環境史に関する知識を学ぶことができます。
- さまざまな年齢・趣味の人々とサポーター仲間になれます。
- ミュージアムが主催する公開講座への優先参加ができます。
- ニュースレター(年3回発行)が配布されます。
- ミュージアム招待券を配布します(月2枚)。

応募条件

- ふじのくに地球環境史ミュージアムに興味がある。
- 15歳以上(18歳未満の方は保護者の同意が必要です)。
- 原則として月に2回以上サポーター活動ができる。
- サポーター研修に参加できる。

サポーター研修

ミュージアムサポーターへの登録を希望される方は、以下のいずれかの日で1回受講ください。
※メールまたはミュージアム1F受付にて事前申込をお願いします。
日時: 2/21(水)、2/24(土)、2/25(日)
各日とも10:00~12:00
会場: ふじのくに地球環境史ミュージアム3階視聴覚室

お問い合わせ

ふじのくに地球環境史ミュージアムサポーター担当 鈴木
TEL: 054-260-7111 E-mail: info@fujimu100.jp

オムニバス授業「地球環境史学」(公財)はごろも教育研究奨励会助成事業

地球科学や生物科学の分野で活躍する研究者をお招きして、専門分野における最先端の研究成果をわかりやすく、深く、面白くお伝えします。ふじのくに地球環境史ミュージアムで、地球環境と人のくらしのこれからを考えてみませんか。

日時 2018年2月25日(日)
14:00~15:30

ゲスト 石田秀輝
東北大学大学院名誉教授



テーマ 自然に学ぶくらし

日時 2018年3月17日(土)
10:30~12:00

ゲスト 今村文彦
東北大学災害科学国際研究所所長



テーマ 東日本大震災の教訓
~災害科学国際研究所の活動から~

定員 100名 予約 要 場所 講堂

申込方法 電話又はE-mail(タイトルを「地球環境史学申込み」としてください)。
締切は各講座開催日の2日前まで。

必要事項 ①受講したい日付 ②参加者氏名 ③申込人数 ④電話番号

トピックス展「逸品“ふじのくに”に会いに行こう！」



静岡県富士山世界遺産センター(富士宮市)
撮影:平井広行

場所 ホットピクギャラリー

開催期間 2018年2月14日(水)
~2018年4月8日(日)

静岡県をより深く知ることができる施設が県内に続々とオープンしています。ここでは、各施設の逸品コレクションを紹介します。ぜひ行ってみよう!

学術図書 発売中「古人骨を測る 同位体人類学序説」

日下宗一郎 京都大学学術出版会



A5 上製・250頁・税込 3,780円

日下准教授が執筆した学術図書が発売されました。古人骨の骨や歯に含まれる安定同位体を分析することによって、縄文人が食べていた物や、生まれ育った場所を調べることができます。その研究内容を分かりやすく紹介しています。ご一読ください。図鑑カフェでも販売中です。

“ミュージアムのいま”をお伝えする、ミュージアムダイアリーです。

2017.10.7-10.29 企画展「ネイチャー×アート実験 風鈴丸作品展 星の教室」



自然科学と美術という異なる文化の根源にある「自然へのあこがれ」を、静岡県出身の木版画家である風鈴丸さんの描く幻想的な心象風景と、当館収蔵の自然史資料展示のコラボレーションにより展示しました。期間中、ネイチャー×アートトーク「星の教室」と題して、風鈴丸さんと当館研究員によるデザインと自然に関するトークイベントを行いました。

2017.10.24-11.26 ミドルヤード展示「昆虫系人間展」

静岡大学大学院に在学中の牧野宏次郎さんによる「昆虫系人間」のイラストレーションと、当館収蔵の昆虫標本をあわせて展示しました。「草食系男子」「肉食系女子」という言葉が流行しましたが、まるで昆虫のような行動をする「昆虫系」の人間がいたら…という空想から出来上がったユニークな展示となりました。また、本展は当館の展示にインスピレーションを受けた牧野さんが企画を持ち込み、昆虫学者の岸本年郎准教授と意気投合して実現した「持ち込み型企画展」でした。



2017.12.16, 2018.1.14 「連続講座」 “天地に在りて、道を究める” (公財)はごろも教育研究奨励会助成事業

【第6話】

ゲスト 佐々木典夫
四季株式会社(劇団四季)代表取締役会長
テーマ ことばの力
~劇団四季「こころの劇場」の取組から~

佐々木さんが黎明期の劇団四季へ入団した経緯や、「キャッツ」「ライオンキング」の製作秘話など、様々な取組についてお話いただきました。また、「こころの劇場」のような児童向けの無償公演を続ける利他の精神は、ミュージアムの思想と繋がる部分がありました。



【第7話】

ゲスト 河合純一 パラリンピック水泳金メダリスト
テーマ チャレンジが耕してくれたもの

学生時代のパラリンピックでのご活躍や、教員としての苦悩、日本パラリンピアンズ協会での活動についてお話いただきました。淡々と語られる河合さんの自叙伝を受け、講演終盤の「人生において無駄な時間はない」という言葉は、強い説得力がありました。



2017.12.2, 9 オムニバス授業「地球環境史学」(公財)はごろも教育研究奨励会助成事業

ゲスト 五箇公一 農学博士
国立環境研究所生物生態環境研究センター室長
テーマ 生物多様性異変~如何にして我々は生き残るか~

生物多様性や外来種に関する、高度な内容を五箇さんならではのユーモアを交えながら紹介しつつ、現代を生きる日本人が直面している問題についてご説明いただきました。笑いあり、恐ろしさありの講演は、上質な情報バラエティ番組を見ているかのようでした。



ゲスト 東 垣 理学博士
国立研究開発法人海洋研究開発機構理事
テーマ 地球深部探査船「ちきゅう」による
海底下フロンティアへの挑戦

しばしば清水港に停泊するため馴染み深い地球深部探査船「ちきゅう」や、東さんの研究についてお話いただきました。地球科学の最先端研究が行われる場でもある「ちきゅう」に乗船することで、研究者として成功していく過程に、夢やロマンを感じました。

